企業・団体名（　株式会社メディセオ　山梨　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	各種ホットラインの設置により差別行為が発生していないか確認している。 また、採用担当者の定期的な研修受講や面接を行う社員へマニュアル等での啓蒙を行い、雇用における差別がないよう対策している。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	ハラスメント防止規程の制定、ハラスメント防止研修の実施、社内ポスターでの啓蒙、各種ホットラインの設置等を行い、ハラスメントを防ぐ体制を整備している。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	労働組合とも協力して、職場ごとに労働時間の適正化に定期的に取り組んでいる。 また、一定時間を超えた労働者が発生した場合は、過度の長時間労働を防止するため都度状況確認および改善指導を行っている。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	メディパルグループとしてダイバーシティ&インクルージョン宣言を行い、性別・国籍・経歴などにとらわれない多様な価値観を持った人材がお互いを尊重しながら意見を出し合える環境作りや研修を実施し差別、人権侵害がないように対策している。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	安全衛生委員会、安全対策委員会において基本的な対策を行うとともに、定期的に労働災害等の発生事例と対策を共有し管理担当者への教育を実施している。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	ストレスチェックの個人結果や集団分析結果より産業医面談や安全衛生委員会での検討を実施し改善につなげている。 また、セルフケア、ラインケアのオンライン研修の実施や相談窓口を定期的に案内する等メンタルヘルスの維持に努めている。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	グループ会社全体でダイバーシティ分科会を設立し、目標設定や達成に向けて取り組みを行っている。（ダイバーシティ＆インクルージョンを理解するための管理職および従業員に向けた研修やメールマガジンの発行、女性活躍を考えるパネルディスカッションの実施等）					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	親会社であるメディパルホールディングスと一体となり、健康経営について宣言・推進体制を周知し、アブセンティーズム・プレゼンティーズムの低減並びにワーク・エンゲージメントの向上による従業員のパフォーマンス向上に向けて取り組んでいる。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	研修担当部門が、階層別研修（若年層や管理職）や従業員が任意で参加できる研修（DXのリスキリング、プレゼンテーション研修、セルフリーダーシップ研修等）を実施している。また、ビジネススキルや語学等の通信教育受講においてその費用を会社が半分負担し能力開発の機会を提供している。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	雇用形態による不合理な格差が生じないように、均等・均衡待遇を目指して必要な対応に取り組んでいる。								○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	医薬品などを廃棄する場合を中心に、廃棄物の処理手順などについてまとめた「廃棄物適正処理マニュアル」に基づき、適法・適正に廃棄物を処理している。										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	使用量データを毎月チェックし対前年比較・地域差等の要素を分析することでエネルギーの過剰利用を抑える取り組みをしている。							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	ガソリン・ディーゼル車を削減し、EV・HV車を積極的に導入をすることにより、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	※製造業ではないため、卸売業の範疇で、薬機法、毒劇法、麻向法等の管理に準拠 ※商品マスターに毒劇法、化審法、安衛法のフラグを設定し、流通等管理			○			○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	地球温暖化によって海面上昇、熱波等の異常気象、穀物生産量の低下、野生生物の絶滅など、人類と生物の生存基盤が脅かされるおそれがあるといわれている中、当社グループは社有車の使用等において、地球温暖化防止に積極的に取り組んでいる。						○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	事業上、直接、水を多用する事がないが、各施設の水道使用量を管理し、過剰な使用が判明次第、原因を追究し改善を促している。						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	自社に関する情報を親会社へ報告し、親会社の統合報告書を通じて開示している。												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	自社施設に太陽光パネルを設置、賃貸物件について１００％再生可能エネルギー使用の物件へ入居している。							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	対象外												○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	自社物流センター内に、商品が梱包された段ボールのリサイクル設備を設置している。 施設内にてごみの分別を徹底し、リサイクルに努めている。						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・「贈賄行為禁止規程」を制定している。 ・全社員を対象に海外腐敗行為防止法を含めたオンライン研修を年１回実施している。 ・新入社員、営業職、管理職対象の研修時に汚職・贈収賄防止を採り上げている。																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・「企業活動指針」「入札談合等防止規程」を制定している。 ・全社員を対象に独占禁止法やコンプライアンスに関するオンライン研修を各年１回の実施している。 ・主に営業社員を対象にオンライン研修「医薬品卸売業公正競争規約研修」を年１回受講している。																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	著作物を無断で資料に使用するなどの知的財産権侵害について、定期的に周知し啓発している。知的財産保護に関するセミナーを開催している。								○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・「プライバシー・ステートメント」、「個人情報取扱規則」、「個人情報保護管理規程」を制定している。																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会						○			○		○		○	○	○	○	○	○

28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	医薬品の品質管理は、全流通経路におけるトレーサビリティが重要と考えている。業務提携している神栄（株）が構築したスマートセンシングプラットフォーム「S3 PLATFORM」や他社の管理システムと連携することにより、将来的に製薬企業での保管から卸を経由し医療機関、さらには患者さんのご自宅までの全行程において、一貫した温度トレーサビリティと医薬品流通過程の可視化の実現を目指している			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	顧客からのクレーム等、要望を社内の関係者へ周知し対応する仕組みを有している。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	対象外						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	自社開発は不可能であるが、親会社の取組として、希少疾病薬の開発への出資を通じて希少疾病患者様のニーズを高める取り組みを実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	多数の業務用車両を活用する必要がある為、安全面に最大限配慮した取り組みを実施している。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	全国の植樹活動への参加や直近では能登半島地震への寄付を行っている。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	対象外								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・掲示板や会議等で経営トップがコンプライアンスの重要性を発信している。 ・「行動指針」を制定し、カードにして全社員に配付している。 ・全社員、営業社員、新入社員、管理職など社員に合わせた研修を実施し、コンプライアンスの徹底を図っている。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	経営理念、経営方針を明文化しており、経営者が適時、経営理念等を社員に伝えている。ＣＳＲ委員会の活動内容を社内で共有している。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・規程・マニュアルに沿った業務を行い、ルール逸脱がないかを自己点検や内部監査でチェックしている。 ・公益通報の規程を制定し、通報窓口を社内・社外に設けている。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	コンプライアンス担当役員を任命し、また、ＣＳＲ委員会を設置し対応している。																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																	○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	ＣＳＲ委員会を設置し、自社のＣＳＲに対する取り組みについて目標を立て、進捗率の確認、評価する取り組みを行っている。																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	常に取引先との対話を続ける事で安定したニーズに応えられるよう推進している。																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	ＢＣＰ対策として建物に免振装置や自家発電装置を採用、災害対策マニュアルの制定、災害備蓄品の保管等、継続しており、災害発生時はマニュアルに則って災害対策本部を設置し事業継続に支障がないよう対応できている。									○		○		○			○	

43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	事業継続計画（BCP）として災害対策マニュアルを策定、定期的な訓練を実施している。								○	○							○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17